

下松

地名の由来を知ろう！

下松の地名の由来は、諸説あります。

◎星降る松説

推古天皇のころ、鷲頭庄青柳浦の松の木に大きな星が降り七日七晩輝き続けました。この時、「百済の皇子がこの地にやってくる」というお告げがあり、3年後に百済から琳聖太子が渡来したと伝えられています。この星が降った松が「降り松」となり、「下松」になったとされます。



◎百済津説

琳聖太子が渡来して以来、百済との交易が盛んになり、百済と貿易をする港(津)が「百済津」と呼ばれ、転じて、下松になったとされます。

◎その他説

「くた」とは湿地、「まつ」は船着場の意であるので、くたまつになったと考えられます。1348年の文獻に「周防くたまつの沖にて…」と書かれています。1371年の違う文獻に「周防のくた松」とでできます。濁音がいつたり消えたりするのは、各地でみられ、今の下松になったのでしょうか。



豊井

豊かな清水のわき出る井戸があったことから豊井となりました。玉鶴川あたりから恋ヶ浜あたりまでが豊井村でした。

こんにちは 下松工業高校eスポーツ部です！



みなさんに聞いてみました！

普段の活動は？

マイクラカップの建築や大会に向けて VALORANT の練習をしています。合宿やスクリム、ものづくり教室、プログラミング教室もやっています。

部活動の中で楽しいと感じる瞬間は？

建築が完成したときの達成感。作戦を考えているとき、その作戦が上手くいったとき。ACE (一人で敵を全員倒す) をとったとき。

これからeスポーツ部に入りたい人、eスポーツを始めてみたい人に一言

eスポーツを通してチームワークやコミュニケーション能力が身に着きます。インスタグラムをやっているので、ぜひ見てください。

下松工業高校
eスポーツ部



Instagram

ステージ0試合の様子

下松市教育委員会 生涯学習振興課 星の子ネット gakushuu@city.kudamatsu.lg.jp (担当:山本・菊谷)

お電話・ファックス・メールでもどうぞ… TEL.0833-45-1871 FAX. 0833-45-1865

星の子ネット情報誌

ねえ

2026 秋
Vol.51

クイズ1 六部様

六部様の『六部』ってどう言う意味??

- ア 六時 イ 六回 ウ 六割

クイズ2 人丸神社

人丸神社の「人丸」って誰のこと??

- ア 牛若丸
イ 柿本人麻呂
ウ くだまる

クイズ3 西念寺

西念寺から飛び出したと言われているのはどれ??

- ア 龍
イ とら
ウ くだまる



下松の昔話・伝説・民話・怪談

～ 伝えられた下松のむかし ～

下松にはいろいろな昔話、伝説、民話、怪談が伝えられています。その地域と深く結びついている昔話や、山や川、沼、石などのいわれを説明している伝説、笑い話や世間話も含まれる民話などです。

何代にもわたって語りつがれてきたお話は、幸せにくらすための教訓、自然を敬う心、自然の美しさ、災いに負けない絆などすべての物には意味があり大切にしなければならないことを教えてくれます。



クイズ4 えんこう淵

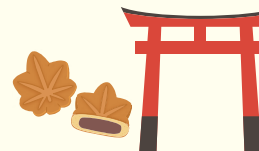
えんこう淵にいたと言われている『えんこう』はどれ??



クイズ5 厳島神社が笠戸島に造られていたかも伝説

なぜ、笠戸島に厳島神社は造られなかった??

- ア もみじ饅頭がなかったから
イ 浦の数が1つ足りなかったから
ウ 鹿が住んでいなかったから



お話の世界に出かけてみませんか?

山田

願いを叶えてくれる六部様

国道2号線、久保中学校より北へ3キロ、山田後泊^{うしろえき}にあります。六部とは全国^{あに}を行脚^{ぎや しゅぎょうしや}する修行者のこと。各地をめぐり差し出されたものを六割^{ろくわり}しかもらわなかったことからその名がつけられました。

寛政六年（1794年）山田の山里が雪におおわれた日のこと、その晩に六部は一夜の宿をもとめましたが、もとめられた村人^{ことわ}は断^{よくじつ}りました。翌日^{あつ}その六部が雪の中に倒れて亡くなっていました。村人は、その六部を見過^{みす}すわけにはいかず、丁寧に葬式^{ていねい そうしき}をすませました。

葬式^{ていきよう}の場を提供した人の夢枕^{ゆめまくら}に六部が現れ「お墓参りをした人の腰から下の病気を治してしんぜよう。私の墓^{はか}に竹が生えたら信じてほしい。」とつげました。やがて竹がはえ、お堂^{どう}を作り、村人は「六部様」と呼ぶようになりました。

毎年、4月11日^{めいにち}を命日と定めお接待も行われ、今もお参りする人がいます。

クイズ1の答えは
⑦ 六割下松にも
言い伝えがたくさん
あるんだね！

昭和通

長五郎の作った西念寺の龍

ある嵐の夜のことで。一人の男が「八丈^{はちじょう}（今の昭和町）から切戸川のほうへ、地をうように龍が飛んでいくのを見たんじゃ。」と血相^{けっそう}を変えてわめいていました。村人たちは「何か悪いことでも起こらねばよいが…」と恐れおののいています。

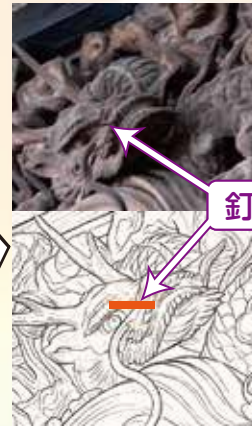
西念寺^{じゅうしよく}の住職は「龍は仏さまを守る神。天候を守り、雨をもたらし、人を助け、川を開き、宝を守る。心配無用^{むよう}じゃ。」そう言ってみなを安心させました。

また嵐がやってきました。「今日こそは。」と住職が待ち構えていますと、龍は目の前を通り過ぎ、すーっと西念寺の方へ入っていきます。住職は「まさか！」と思いました。なんとその正体は本堂にある欄間^{らんま}に彫^ほられた龍だったからです。さっそくその龍を彫った長五郎^{くぎ}を呼び、「二度と飛び出さないように！」と釘^さを打ってもらいました。

西念寺の欄間に彫られた龍の口には、今でも大きな釘が刺さっています。

岩瀬長五郎（いわせちようごろう）

江戸時代に活躍した宮大工。晩年は花岡に定住。花岡八幡宮などにたくさんの彫刻を残しました。



釘

南花岡

人丸神社

～こんなところで見つけたよ、有名人！～

ひやくにんいつしゅ 百人一首って知っていますか？例えばこんな歌！

あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の
ながながし夜を ひとりかも寝む

訳：山鳥の長く垂れ下がった尾のように長い夜を、私はあなたに逢えずにたった一人で寂しく寝ることになるのだろうか



約1300年前、現代の私たちの心にも心地よく響くこんな素敵な恋^{かきものひととまろ}の歌を読んだ柿本人麻呂の由来の神社が、なんとサンリブ近くの意外な場所にあるのです。人麻呂は持統天皇と文武天皇に仕えた宮廷歌人^{かじん}で、「万葉集」にたくさんの優れた歌を残しました。

そんな人麻呂は、明石（兵庫県）から船に乗り太宰府（福岡県）へ向かう途中、笠戸島の海を通ったといわれています。この逸話を



伝え聞いた後世の人々は、人麻呂の優れた心を敬い、「人丸様」として南花岡の人丸神社にお祀りしました。学問^{がくもん}、五穀豊穡^{ごこくほうじよう}、家内安全^{かないあんぜん}、安産^{あんざん}を願い、今も花岡の里のくらしをそっと見守り続けています。

クイズ2の答えは
① 柿本人麻呂

河内

えんこう淵

～えんこう vs 人間の子どもたち～

むかし、下松高校の下あたりの切戸川に「えんこう淵」という淵（川の水が深くてまった場所）がありました。そこには「えんこう」という手^{さる}の長い猿^{さる}のような生き物が住んでいました。「えんこう」は中国、四国地方に伝わる生き物で、河童^{かっぱ}の一種^{いっしゆ}とされています。

猿に似ていて、泳いでいる子どもたちを水の中に引っ張りこんでしまったそうです。



えんこう淵あたり

クイズ4の答えは
⑨

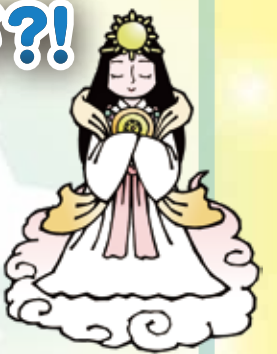
むかしの人は「えんこうに引かれる」と言^{おそ}って恐れたといいます。遊んでいた子どもたちと「えんこう」が引っ張り合い「えんこう」が負けてしまい、頭の上の皿^ひが干上がりどこかに逃げていったという話も伝わっています。その後、淵は浅瀬^{あさせ}となり「えんこう淵」という名前だけが残りました。

深浦

もしかして！

笠戸島に厳島神社が?!

むかしむかし、海を旅する神さま「伊都岐島姫命^{いっ きしまひめのみこと}」が、自分の住むところを探していました。福岡の方から東へ船で進んでいると、ある日、笠戸島にたどり着きました。美しい山や青い海を見て、神さまは「ここに住みたいな」と思いました。しかし、海の神さま「七浦^{ななうら}恵比寿^{えびす}」をお祀りしなくてはならないのですが、浦^{まつ}が一つ足^{あき}らなかったのです。困った神さまは、さらに東へ船を進め、安芸の国「宮島」にたどり着き、そこが気に入って住むことにしたのです。



宮島の大鳥居



深浦海中鳥居

宮島の大鳥居が
深浦にできて
いたかも？